

1 現状分析

(1) 日光国立公園の特徴

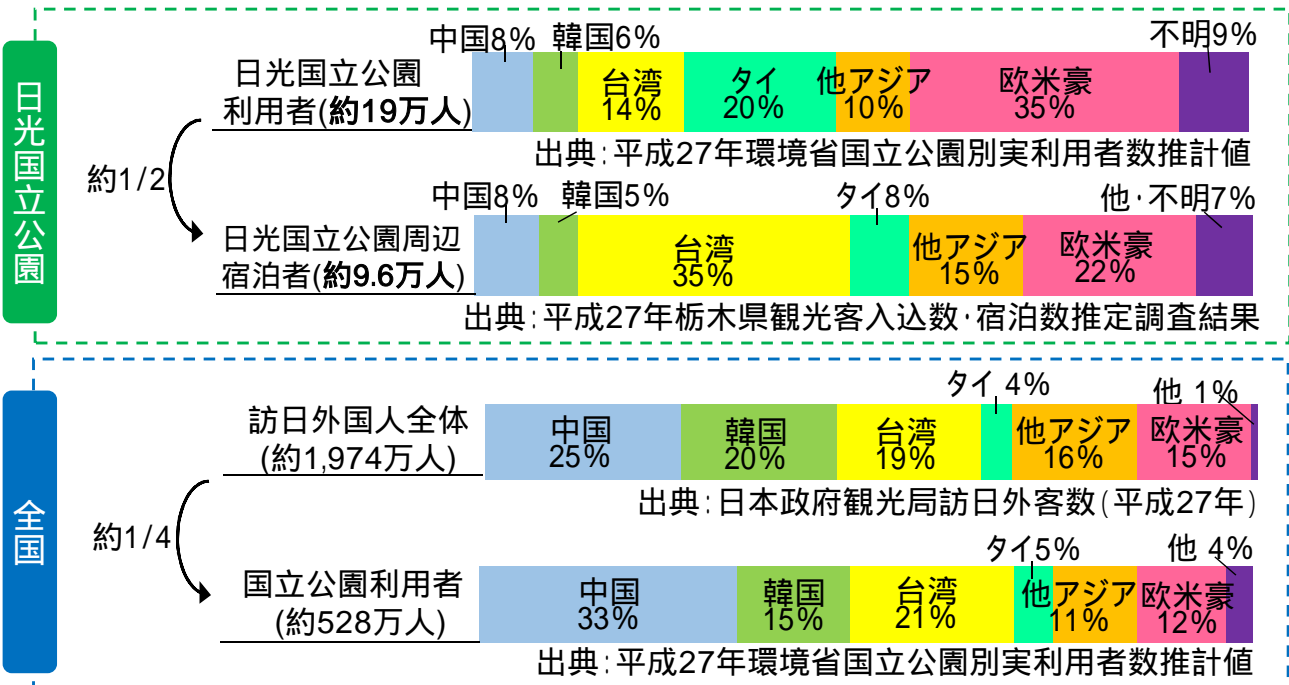
火山群と水環境が織りなす自然景観 (森林、湖、湿原、滝、渓谷等) ラムサール条約湿地「奥日光の湿原」など、**世界的にも貴重な自然** 世界遺産や皇室ゆかりの施設などの**歴史・文化遺産**も多数 **歴史ある古湯・秘湯**も多数 **首都圏からのアクセスが良好**(鉄道 + バスで約2時間。空港からの直通バスも)

(3) 日光国立公園の課題

東京からの**日帰りが多く、宿泊につながっていない**
外国人観光客が世界遺産周辺のみに集中し、全体に波及していない
 観光需要が繁忙期に集中し、特に**冬季の観光客が少ない**
 観光資源の**一元的・広域連携での海外プロモーション**
 国立公園エリア内を横断する交通手段など、**二次交通の整備**が不十分
 鬼怒川温泉、中禅寺湖畔などで**廃屋**が残されており、景観を阻害
 Wi-Fi、多言語対応、人材育成などの**外国人観光客受入態勢整備**

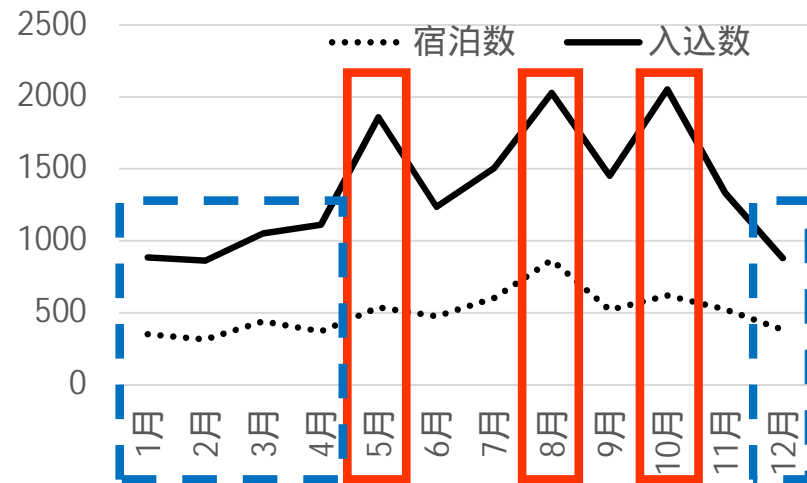
(2) 外国人観光客の状況

全国に比べ、**欧米系やタイの観光客が多く**、中国・韓国の観光客は少ない
 来訪者のうち**約半数が日帰り**(特に欧米豪・タイは日帰りの割合が高い)



< 参考: 月別入込数宿泊者数(日本人含む) >

繁忙期: 5月(G.W)、8月(夏休み)、10月(紅葉)
 閑散期: 12~4月(冬季)



出典: 平成27年栃木県観光客入込数・宿泊数推定調査結果

2 コンセプトと取組の方向性

(1) 日光国立公園のコンセプト

A案	B案	C案	D案
NIKKO is NIPPON 日本の魅力は日光国立公園で満喫できる	Near TOKYO, Not TOKYO NIKKO 東京に近いが東京では味わえない体験ができる	NIKKO Nature x Culture x Adventure 日光国立公園の魅力を自然・文化体験で満喫できる	The resort of upper class NIKKO 皇族、華族、外国大使など上流階級が認めたりゾート地

(2) 目指すべき姿

上質で奥深い魅力を満喫できる国立公園
体験・滞在・周遊型の国立公園
地球環境にも配慮した国立公園

(3) 取組の方向性

上質な観光資源の磨き上げ、魅力の創出、受入態勢整備等により魅力的な国立公園に各種体験、各エリア間の連携強化により線・面的に周遊できる仕組みを作る
 マイカー利用からの転換、再生可能エネルギーの活用などゼロエMISSIONの取組を推進

(4) ターゲットとする利用者層

欧米系を中心としたFIT客をメインターゲットとする
 タイなど増加するアジア市場も開拓
 自然体験、温泉や歴史など日本文化に関心のある層にPR
 詳細なターゲットは今後の聞き取り調査結果等も踏まえて検討

3 目標

(1) 訪日外国人利用者数

日光国立公園の訪日外国人**利用者数**: 19万人(H27) **50万人**(H32)

(2) 訪日外国人宿泊者数

日光国立公園周辺の訪日外国人**宿泊者数**: 9.6万人(H27) **25万人**(H32)

< 参考: 国の数値目標 >

訪日外国人旅行者数: 2000万人(H27) **4000万人**(H32) [6000万人(H42)]
 外国人国立公園利用者数: 430万人(H27) **1000万人**(H32)

< 参考: 県の数値目標 >

外国人宿泊者数: 14.6万人(H26) **30万人**(H32)

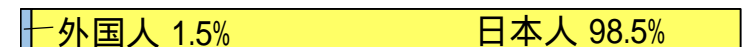
< 参考: 宿泊施設稼働率(推計) >

日光エリア	鬼怒川エリア	那須エリア	塩原エリア
62.1%	38.5%	24.3%	30.2%

平成27年栃木県観光客入込数・宿泊数推定調査結果と各エリアの宿泊可能人数(旅館業登録数)から推計

< 参考: 外国人宿泊者の割合 >

日光国立公園周辺宿泊者全体のうち外国人の割合



外国人宿泊者全体のうち国立公園周辺宿泊者の割合



出展: 平成27年栃木県観光客入込数・宿泊数推定調査結果

4 プロジェクトの実施

(1) 日光国立公園全体の取組

ア 受入態勢整備	イ 観光資源の磨き上げ	ウ エリア間・素材間の連携	エ 景観整備
<p>Wi-Fi整備、施設改修などハード整備</p> <p>人材育成、外国語研修、ビジターセンター再整備など案内機能強化</p> <p>(例)</p> <ul style="list-style-type: none"> 日光自然博物館内の外国人向け観光案内所整備 自然ガイド向け外国語研修の実施 那須平成の森での自然ガイド育成研修 <p>二次交通など交通アクセス改善</p> <p>宿泊施設の充実</p> 	<p>新たなメニューの開発</p> <p>外国人目線での磨き上げ</p> <p>冬季のメニューの充実</p> <p>新しい現地交通の整備</p> <p>(例)</p> <ul style="list-style-type: none"> 中禅寺湖周辺でのレンタサイクルシステムの導入 県営駐車場へのサイクルステーションの整備 <p>観光資源と遊歩道のネットワーク化</p> <p>(例)</p> <ul style="list-style-type: none"> 「温泉の道」などテーマを持たせた遊歩道のネットワーク化 	<p>エリアをつなぐ新たな二次交通の整備</p> <p>(例)</p> <ul style="list-style-type: none"> 那須～塩原～鬼怒川～日光エリアをつなぐバスの運行 <p>ストーリー性をもたせたモデルコースの設定</p> <p>(例)</p> <ul style="list-style-type: none"> 「水」「皇室の御静養地」「聖地・日光」などのテーマ性を持たせたモデルコースの設定 	<p>景観条例、屋外広告物条例の適切な運用</p> <p>廃屋の取扱い方針を検討</p> 

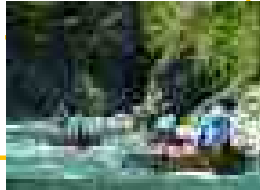
(2) 各エリア・ビューポイントの取組方針

鬼怒川エリア 温泉から行く手軽な自然体験

鬼怒川・川治・湯西川等多くの温泉地
鬼怒川渓谷での散策やアクティビティ
湯西川での雪を活かした体験
大型の旅館やテーマパークなど

散策・体験のルートを中心に整備
体験や街歩きの磨き上げ

ビューポイント 鬼怒川・川治温泉
湯西川・川俣・奥鬼怒

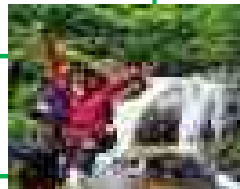


日光エリア 水環境と調和した歴史遺産めぐり

世界遺産「日光の社寺」、旧大使館別荘など
多くの歴史・文化遺産
湖、滝、湿原など豊富な水環境
高低差による垂直方向の変化に富んだ自然
自然・歴史など多彩なガイドツアー・体験

歴史・自然の散策ルートを中心に整備
歴史・自然ガイド、体験の磨き上げ
ビジターセンター等の拠点整備

ビューポイント 世界遺産周辺 中禅寺湖畔
奥日光・湯元 霧降高原



各エリアを横につなぐ
二次交通の整備

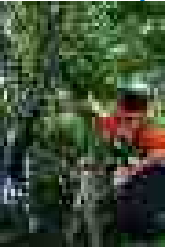
世界遺産への
来訪者を日光
国立公園全域へ

那須エリア 山や森とふれあうロイヤルリゾート

皇室ゆかりの地
火山に由来する歴史・文化、温泉も多数
レベルに応じた登山・トレッキング利用が可能
周辺に美術館や牧場など多彩な観光施設

登山道・散策路を中心に整備
近隣の観光資源との連携

ビューポイント 那須高原 那須連山
板室温泉



塩原エリア 7色の温泉と渓谷アクティビティ

湯巡りも可能な泉質豊富な温泉
多くの文人・墨客の足跡
塩原渓谷やダム湖での自然ガイドやアクティビティ
が多数

ガイド・体験ルートを中心に整備
自然ガイド・体験の磨き上げ

ビューポイント 塩原温泉郷
八方ヶ原



(3) 宣伝・誘客

全体の宣伝方針

日光国立公園としての一元的な情報発信
「日光」のネームバリューを活用した宣伝展開

<参考: 県の宣伝・誘客方針>

- ・東アジア、東南アジアがメインターゲット
- ・海外メディア、インターネット等による情報発信
- ・関東近県等との広域連携

情報接触段階に合わせた宣伝方針

	BtoCの宣伝	BtoBの宣伝
発地(海外)	・素材をハブ的につなぐHP ・ガイドブックへの掲載 ・SNSでの発信	・旅行AGTの招へい (JNTOと連携) ・旅行博への出展
発地 (国内拠点等)	・案内所、ホテルスタッフ向け情報 ・広告、パンフレット掲出 ・他国立公園との広域連携	・国内事業者の商品造成、 現地ツアー販売促進 (DC等と連携)
着地 (国立公園内)	・公園内の周遊 ・リピーター確保	

(4) 取組のスケジュール

年度	H28	H29	H30	H31	H32
イベント等		プレDC、山の 日、技能五輪	DC	アフターDC、 ラグビーW杯	東京五輪
取組	(今後検討)				
数値目標 達成目安	10万人 (推計)		中間値		目標値

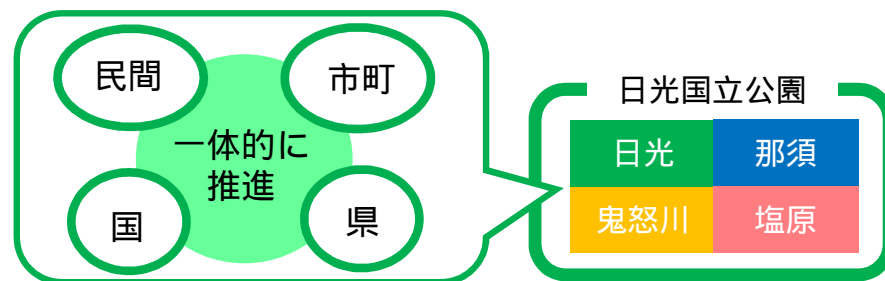
素材の磨き上げや宣伝PR等は他イベントと
一体的に取り組み、相乗効果をねらう

他イベントとの関連や、外国人来訪実績等から
特に先駆的に改善するビューポイントを選定し、
先駆箇所の成果を他の箇所に応用していく。

(5) 推進体制

地域ごとの官民連携による取組推進組織が必要。

国、自治体、民間事業者が連携し、DMOや既存組織を推進母体とし、
一体的に推進していく。



5 効果検証

(1) 目標達成率による検証

外国人利用者数及び外国人宿泊数の推移により検証する。

(2) 聞き取り調査による検証

外国人観光客への聞き取り調査等を行い、滞在時間、消費額の推移や宣伝
手法や改善状況等に対する評価を実施する。

→ステップアッププログラムを適宜改定していく。

< 参考資料：各エリアで提供されている主な体験・アクティビティ >

日光



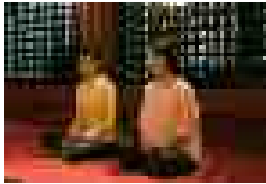
シャワーウォーク



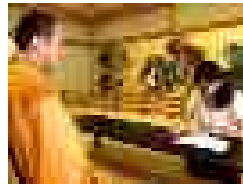
スノーシュー・エアボード



氷瀑トレッキング



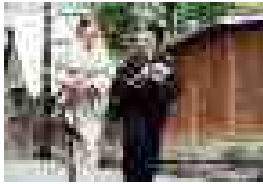
輪王寺座禅体験



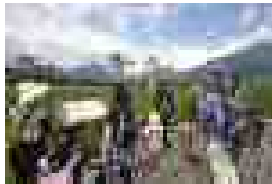
輪王寺写経体験



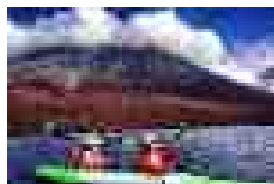
日光彫体験



着付け体験



ガイドウォーク



中禅寺湖カヌー

那須



レンタサイクル



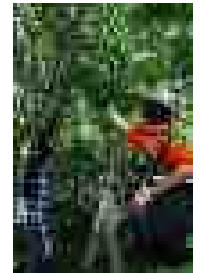
スノーシュー



溪流釣り



スキー・スノーボード



インタープリター
ツアー



カヌー

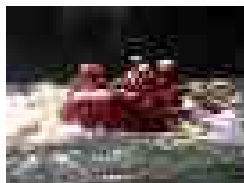


スタンドアップパドルボード

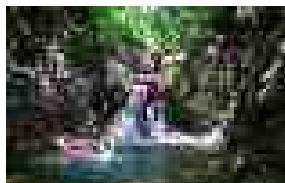
鬼怒川



鬼怒川ライン下り



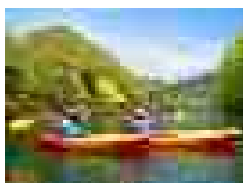
ラフティング



キャニオニング



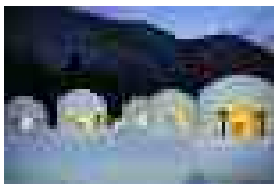
カナディアンカヌー



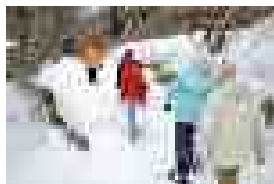
カヤック



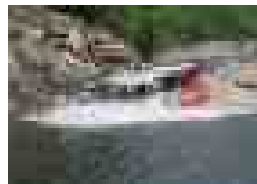
スタンドアップパドルボード



かまくらバーベキュー

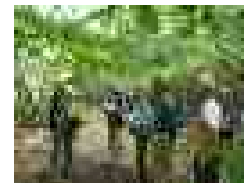


スノーシュー

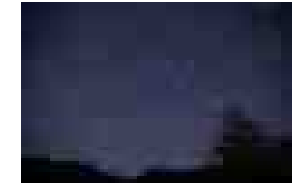


ダックツアー

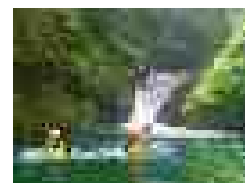
塩原



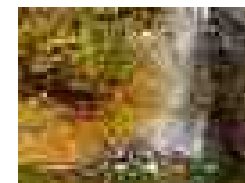
ガイドウォーク



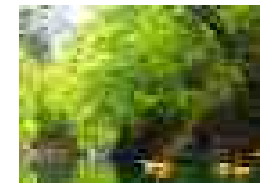
星空観察



キャニオニング



スタンドアップパドルボード



カヌー



トテ馬車



スノーシュー



スキー・スノーボード